

CS こひつじ科礼拝式次第

2020年11月8日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「いまだかつて、神を見たものはいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。」
ヨハネによる福音書1章18節

12、ぱらぱらおちる（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ヨハネによる福音書20章24～31節

十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」 20:28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

おはなし 「神の御子、キリスト」

門脇献一校長

みなさんおはようございます。今日の聖書のお話は、イエス様が復活されてからのお話です。復活されたイエス様はすでにマグダラのマリアさんやお弟子さんたちの前に現れておりました。お弟子さんたちは、「私たちは主にお会いした」、と喜び、目を輝かせておりました。でも12弟子のひとりトマスさんだけは復活されたイエス様とお会いしていませんでした。

ほかのお弟子さんたちが「私たちは主を見たんだ」というのですが、トマスさんは信じることができませんでした。だから、「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」と言ったのです。信じられないとした

ら、自分の目で確かめたいと思うのはそう不思議なことではありませんね。

一週間後、お弟子さんたちはまた同じ家に集まりました。そのとき、復活されたイエス様はお弟子さんたちの真ん中にお現われになり、「あなたがたに平和があるように」と言われました。そして、復活を信じることのできなかったトマスさんに、「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」と言われました。決してとがめるのではなく、トマスさんの言った言葉どおりに確かめなさいと静かに言われました。でも、そんなことをする必要はありませんでした。このときトマスさんの心には、お弟子さんとしてイエス様と一緒に過ごした日々、イエス様が行ったいくつもの奇跡、イエス様が語られた言葉が思い出されたことでしょう。そして、十字架にかかれて3日目に復活された方、この方こそ神様の独り子、神様の救いの計画を成し遂げてくださった救い主だと確信できたのです。トマスさんは、「わたしの主、わたしの神よ」とその信仰を告白したのです。

私たちは復活されたイエス様と直接お会いすることはありません。でも、聖書のみ言葉から、信仰を与られます。聖書はそのために用いられるのです。実際、このように書かれていますよね。

「これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。」

実際、聖書のみ言葉を通して働かれる神様の力によって、多くの人にイエス・キリストへの信仰が生まれたのです。今もこれからもずっとそうなのです。イエス様はこう言われて私たちに祝福されています。

「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

おいのり

天の父なる神様、今朝はイエス様の復活を信じることのできなかったトマスさんが復活されたイエス様にお会いして、イエス様がまことの救い主であると信じ、告白したお話を聞きました。イエス様を直接見ることのできない私たちにも、聖書のみ言葉を通して、「イエス様が救い主である」との信仰をお与えくださる幸いを感謝します。どうか、私たちが聖書に示された救い主を正しく理解し、心から信じ、従うことができるようにお助けください。

イエス様の聖名によってお祈りします。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

朝礼拝においでの際におささげください。

64、イエス様ごめんなさい (こどもさんびかをお用ください)